

二酸化炭素消火設備の事故にご注意ください。

近年、二酸化炭素消火設備の消火剤（二酸化炭素）が誤って放出され、**死者や負傷者が発生する事故**が複数回発生しています。
皆さまの建物で同様の事故を起こさないよう、次の事項にご注意ください。

<最近の事故>

令和2年12月22日	名古屋市	死者1名 負傷者10名
令和3年1月23日	東京都港区	死者2名 負傷者1名
令和3年4月15日	東京都新宿区	死者4名 負傷者2名

1 工事・メンテナンス時

二酸化炭素消火設備又はその付近で工事やメンテナンスを行う場合には

- ① 誤作動や誤放出を防ぐために**二酸化炭素消火設備を熟知した消防設備士や消防設備点検資格者を立ち会わせる**など、作業時の安全を確保する。

<資格者による対策の例>

- ・閉止弁を「閉」にする。
- ・二酸化炭素消火設備の制御盤の電源を切る。
- ・手動起動設定とし、手動起動装置付近に監視員を配置する。

- ② **関係者以外の人立ち入らない**ように管理を徹底する。

- ③ 工事関係者に対し**二酸化炭素の人体に対する危険性、設備の適正な取り扱い方法、作動の際の対応方法、避難方法等について周知する。**

- ・誤って起動させたときは、すぐに停止ボタン(非常停止ボタン)を押す。

※ 裏面に停止ボタンの写真を掲載しています。

2 建物利用者等への周知

防火管理者や自衛消防隊員、二酸化炭素消火設備設置場所**利用者等に対して、二酸化炭素の人体に対する危険性、設備の適正な取り扱い方法、作動の際の対応方法、避難方法等について周知する。**

<利用者等への周知の例>

- ・手動起動装置の起動ボタンは、火災の時以外絶対に押さない。
- ・誤って起動させたときは、すぐに停止ボタン(非常停止ボタン)を押す。

※ 裏面に停止ボタンの写真を掲載しています。

3 消火設備作動時の対応

二酸化炭素消火設備の消火剤が放出された場合には、

すぐに119番通報をして、放出場所に人を立ち入らせない。

二酸化炭素消火設備の事故にご注意ください。

二酸化炭素消火設備についてのQ & A

Q 1：二酸化炭素消火設備とは、どのような設備ですか？

A：二酸化炭素消火設備は主に窒息消火により火災を鎮火させるための消火設備で、固定式と移動式があります。

Q 2：二酸化炭素消火設備は、どのような建物に設置されていますか？

A：二酸化炭素消火設備の特徴として、消火に伴う汚損が少なく、電気絶縁性があることから、一定規模以上の通信機器室、電気室、ボイラー室、駐車場などに設置されています。

Q 3：二酸化炭素消火設備の消火剤は、どのようにすると放出されますか？

A：以下の2通りがあります。

- ①手動起動装置（操作箱）の手動起動ボタンを押すと放出する場合
- ②自動火災報知設備の感知器の作動と連動して放出する場合

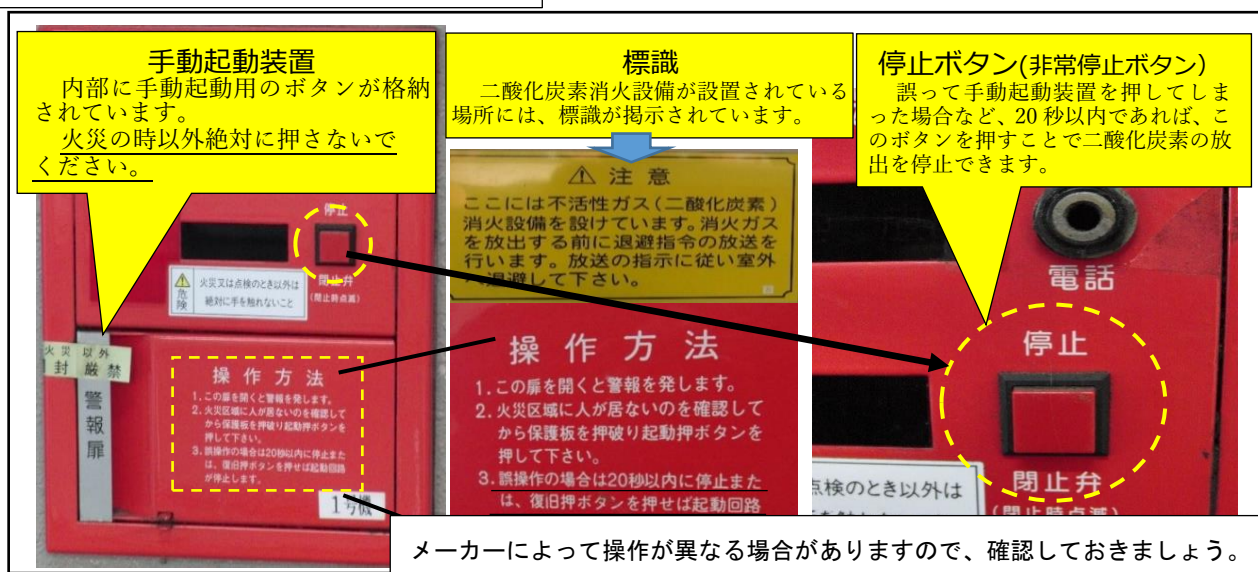
Q 4：二酸化炭素消火設備が作動した場合、どのような危険がありますか？

A：消火剤である二酸化炭素には毒性（麻酔性）があるため、高濃度の二酸化炭素を人が吸うと即時に意識喪失し、酸素欠乏症に陥り死に至る危険性があります。
なお、安全のため二酸化炭素消火剤の放出前には、音声による警報が行われます。

Q 5：主な二酸化炭素消火設備の誤放出の原因はなんですか？

A：二酸化炭素消火設備の手動起動ボタンを誤って押してしまったことや、建物改修工事等において二酸化炭素消火設備の配線等を誤って損傷させてしまったこと等により、誤放出してしまったという事故が多く発生しています。

停止ボタン（非常停止ボタン）の例



問合せ先

(ご不明な点につきましては、管轄の消防署へお問い合わせください。)

- | | | | |
|------------------|--------------|-------------------------|--------------|
| ・仙台市消防局規制指導課指導係 | 022-234-1111 | ・仙台市青葉消防署予防課査察指導係・設備指導係 | 022-234-1121 |
| ・仙台市宮城野消防署予防課指導係 | 022-284-9211 | ・仙台市若林消防署予防課指導係 | 022-282-0119 |
| ・仙台市太白消防署予防課指導係 | 022-244-1119 | ・仙台市泉消防署予防課指導係 | 022-373-0119 |
| ・仙台市宮城消防署予防係 | 022-392-8119 | | |